



オーナメント売って応援 首都圏など

クリスマスツリーに飾るオーナメントで被災地を支援する動きが出てきた。

東京都中央区の銀座三越では、1階入り口に設置された高さ5層の巨大ツリーに、美大生やデザイナー2000人がデザインした色とりどりのオーナメント4

00個が飾られている。写真。23日からオーナメント販売が行われる。定価はなく、購入者それぞれが思いを込めた金額を義援金として支払う。収益は被災地に送られる。

日本ユニセフ協会などで構成する「祈りのツリープロジェクト」が主催して、松屋銀座、ルミネ有楽町、有楽町ロフト、資生堂ザ・ギンザでも12月25日まで順次開催する。詳しくは同プロジェクトのホームページ(<http://www.inoritree.com>)へ。

また、宮城、岩手両県の被災地の女性に、雇用の場を提供する活動をしている「チームともだち」(登内芳也代表理事)は、約30人の女性に綿でオーナメントを作ってもらう活動を始めた。

完成したオーナメントを横浜高島屋(横浜市)など全国で販売する。問い合わせは同団体の東京オフィス(03・5778・4071)へ。